

名誉会員 J.P.エッカート博士を偲ぶ

藤田 献†

最初に実用に使われた ENIAC, 初めて市販された UNIVAC の開発者として, J.W.モークレイ博士と共にコンピュータの歴史に名を残された, 本学会名誉会員ジョン・プレスパー・エッカート博士が, 去る 6 月 3 日入院中のペンシルバニア州プリンモアアの病院で亡くなりました. 76 才でした.

博士は 1919 年 4 月 9 日フィラデルフィアで, 成功した実業家の家庭に生まれました. 幼稚園児の頃すでに技術者の才能を示すかの様に, ラジオの裏側の配線の絵を描いたそうで, お宅で見せて頂いた事があります. ペンシルバニア大学の電気工学科 (ムーアスクール) へ進み, 1941 年卒業. そのまま大学に残り 1943 年修士号を取得されました.

その頃, 米軍はアフリカ戦線で大砲の射撃用の照準表が役に立たないと言う緊急の問題に直面して居ました. 砂漠の土質が原因でした. 陸軍の弾道研究所からムーアスクールへ, 再計算の仕事が持ち込まれました. 電動計算機を集めて 300 名の女性が計算に当たる一方, 機械式微分解析機の精度を上げるプロジェクトも進められました. この時, エッカート・モークレイ両氏は真空管回路で計算を行う方式を考案し, 軍の予算がついたので ENIAC が誕生するのです. 真空管 18000 本を使えば一本の寿命 2000 時間としても 6-7 分に一度は故障すると言った権威者がいましたが, エッカートさ



んは, 真空管のヒータを定格の 90 % の電圧で使い, 定格の何割かの電流でも十分な信号が出る様に全ての回路を標準化した設計で, 信頼性を確保しました.

その後, 二人は計算機会社を設立し, BINAC というコンピュータを作りましたが, 1950 年この会社をレミントンランド社に譲渡し, 資金を得

て UNIVAC を完成させました. その 1 号機はアメリカ人口統計局へ納入され十数年間活用されたが, 今はスミソニアン博物館に保存されて居ます.

1955 年ユニバック部門の副社長となり, ユニバックがスペリーになり現在のユニシスになる経過の中で, 1989 年まで副社長, その後もコンサルタントを務め後進を指導しました. 1964 年にペンシルバニア大学から名誉博士号を受けている他, 大統領科学賞等多くの賞に輝いています.

筆者は 1964 年初来日の際通訳を務めて以来親交を頂き, ご自宅に泊めて頂く等お世話になりました. 1991 年に (株) エリックの 10 周年で来日頂いたのが最後になりました. 物理学の基本に忠実な物の見方考え方を貫き, 聖堂へ HiFi VHS を持ち込んでパイプオルガンの演奏を録音し, 自ら DSP を組み込んだ 6 チャンネルシステムで楽しむ等, 趣味迄エレクトロニクスに徹した御生涯でした. 謹んで哀悼の心を捧げます.

† (株) コムニック

御略歴

- 1919年4月9日 アメリカ ペンシルバニア州フィラデルフィアで J. P. Eckert, I の長男として誕生
- 1941年 ペンシルバニア大学電気工学科 (ムーアスクールオブエンジニアリング) 卒業, 大学院進学
- 1943年 工学修士号
J. W. モークレイと共同で弾道計算の電子化
ENIAC 開発開始
- 1945年 ENIAC 完成
- 1946年 エッカートモークレイ計算機会社を設立
BINAC の開発.
人口統計局へコンピュータを提案
- 1950年 UNIVAC-I (UNIVersal Automatic Computer) の完成
同機人口統計局, メトロポリタン生命, デュポン, US ステイール等で使用開始
- 1955年 ユニバック社副社長
- 1958年 UNIVAC-II 完成
- 1960年 リバモア原子力研究所用の高速コンピュータの開発着手
- 1964年 ペンシルバニア大学名誉工学博士
- 1969年5月 情報処理学会名誉会員
- 1989年 ユニバック社コンサルタント
- 授 賞 IEEE フェロー, 国立アカデミー会員, 大統領科学メダル, フランクリン協会メダル他
- ご遺族 ジュデイス夫人, ジョン・プレスパー三世, クリス, グレゴリの三人の男子. お嬢さんのローラさん, いずれも成人して居られます